

FUN to FUN 通信

新卒・外国人の採用インフラを共有化 都市型スーパー マーケットなどの 店舗責任者候補として、 年間100人を新卒で 正社員採用



株式会社平山ホールディングス代表取締役社長
平山善一氏

当社は、一般に知られる機会が少ない業界・業種の現場で働く人たちの生の声や働き方を、定期的に紹介するニュースレターを発行しています。

今回は、株式会社平山ホールディングス（以下、平山 HD）代表取締役社長の平山善一氏にインタビューしました。同社は2018年7月2日に当社の全株式を取得し、当社の親会社になりました。

平山 HD はジャスダックに上場しています。当社同様、事業内容は人材派遣や請負でありながら、「製造業」の分類で上場しています。なぜなのか。平山グループのコア・コンピタンス（競争力の源泉）を知ることによってその理由が明らかになります。当社との今後の事業展開、当社に期待することなども聞きました。

インタビューの全文は、当社プレスルームをご覧ください。
右の QR コードを読み取ると、該当ページに直接アクセスできます。



「ものづくりの工程全てを、派遣・請負によって支援。 現場コンサルタントとの連携により、お客さまの現場改善 と生産性向上を図る」（平山）

Q 平山グループはどのような価値を提供しているのか？ コア・コンピタンスは何か？

平山社長（以下、平山）：平山グループは「インソーシング・派遣事業」と「技術者派遣・受託開発事業」を主たる事業としています。ものづくりの工程全てを、

派遣・請負によって支援しています。独自性として、製造請負においては、現場コンサルタントとの連携により、お客さまの現場改善と生産性向上を図るサービスを提供しています。

どのようなメカニズムなのか、説明します。まず派

株式会社 平山ホールディングスとは

- 社名：株式会社平山ホールディングス
- 上場証券取引所：東京証券取引所 (JASDAQ 市場)
証券コード 7781
- 事業内容：グループ会社の経営管理など
- 創業：1955 年 12 月
- 設立：1967 年 5 月
- 資本金：4 億 3,300 万円
- グループ売上高：135 億円（平成 30 年 6 月期）
- グループ期末人員数：6,136（平成 30 年 6 月期）
（限定正社員及び契約社員を加えた総数／海外含む）
- 代表者：代表取締役社長 平山善一
- 本社所在地：〒 108-0075
東京都港区港南一丁目 8 番 40 号
A-PLACE 品川 6 階



「櫻木社長の仕事に対する真面目さや熱意、これが一番の魅力」（平山）

遣で入ります。段階的に人数を増やし、お客さまの作業やノウハウを吸収して請負化に転換します。同時に当社のコンサルタントが現場に入り、お客さまの設備と敷地の中で現場を診断し、業務改善を提案します。お客さまの工場構内で請負を行うので、（アウトソーシングではなく）「インソーシング」と名付けています。当初の生産人数よりも人を減らす、あるいは同じ人数で生産量を上げることで利益を上げていきます。生産性と品質を向上させるのです。人を減らし、品質を向上できるノウハウを有したコンサルタントを擁している。これが平山グループ全体の強みです。実行部隊を擁したコンサルティング会社、システムを擁したコンサルティング会社です。このような複合系の会社となることを今、まさに目指しています。

Q 買収後、どのような事業展開を具体的に構想しているのか？

平山：まず、協働の事業展開として重要なのが請負化の推進です。これまでファントウファンは実習生を採用していませんでした。これからは、現在の派遣の顧客に請負契約を強力に提案します。そして、請負業務において外国の実習生を扱うことで、コストが下がり、人が安定する。

もう一つは、効果がすぐに表れる採用です。この業界が抱える課題は採用インフラです。より効率的に迅

速にするために共同で採用を行うようにしました。平山グループは毎年 300 人近い新卒者を全国で採用しています。ファントウファンの顧客である都市型スーパーマーケットの店舗運営の重要なキーパーソン、責任者は今までは中途採用の正社員でした。今後、ここを変えていきます。専門学校や大学生の新卒社員をゼロから鍛えて、責任者を育成して 3 年後には 50 人を輩出する予定です。そういう人材を早々に年間 100 人は新卒で正社員採用したいと考えています。新卒採用だけでなく、外国人採用も共同で行います。それが会社の売り上げを伸ばすことに直接つながります。

Q 今後期待することは？

平山：当社は今までも他社をグループインしてきました。ファントウファンはこのたび新たにグループインした会社です。以前の会社と比べて違うところは、同業だということです。櫻木亮平社長をはじめスタッフの人たちが積極的に平山グループの資産、経営資源を貪欲に吸収してほしいですね。

櫻木社長以下皆さん若いですし、右肩上がりの会社です。普通の会社なら企業の融合に 3 年以上かかるでしょう。それを、接触面を多くして 2 年や 1 年半で実現します。そうすれば、それだけ早く果実が実ります。そこを一番期待しています。